

2022年度 桜小学校経営方針



基本方針

人間尊重と共生・協同を学校経営の基盤とし、桜小学校の歴史と伝統を継承し、教職員相互の信頼と協調のもとで、児童一人一人のもつよさや可能性を認め伸ばし、未来を拓くたくましい人間の育成に努める。

学校教育目標

自ら考え、共に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成

具体目標（目指す児童像）

たくましい子 考える子 働く子 思いやりのある子

たくましい体力と活力

たくましい子

- 健康や安全を意識し、考えて行動できる児童の育成
 - ・安全指導の徹底
 - ・安全に対する判断力・行動力の向上
- 体力の向上
 - ・教科体育の充実と各種検定の活用
 - ・運動集会等の実施
- 保健教育や食育に関する指導の充実



個性と創造性の伸長

考える子

- 進んで学習に取り組み、共に学び合う、心豊かな児童の育成
 - ・「さくらの学び」の定着
 - ・学び合いの充実
 - ・協働して課題に取り組む態度の育成
- 指導法や指導体制の工夫
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・ICTを活用した学習活動の充実（1人1台端末）
- 家庭学習や読書の習慣化



勤労意欲と実行力

働く子

- 児童の主体的な活動の推進
 - ・縦割り班活動の充実
 - ・児童会活動や係・当番活動の充実
- 整理整頓と清掃活動の強化
 - ・時間内清掃の徹底
 - ・清掃強化週間設定による意識化
 - ・桜地区クリーン活動



豊かな心情と協調心

思いやりのある子

- 思いやりの心を持ち、決まりを守る児童の育成
 - ・互いのよさを認め合える学級経営
 - ・あいさつの習慣化指導の推進
- 通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習の推進
- いじめ未然防止及び早期対応の取組の充実
- 道徳教育（宮っ子心の教育）の充実



特色ある学校づくり *自ら考え、共に学び、心豊かにたくましく生きる児童を育むために*



特別支援学級の拠点校として、一人一人の個性を大切に、共に学び合うことを通して、互いのよさを認め思いやりの心をもった豊かな人間関係を醸成する。

- ◆「さくらの学び」の活用と「学び合い」を積極的に推進するために、指導方法や指導体制を工夫し授業の充実に努める。
- ◆ なかよし班活動や通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習等を推進して、思いやりの心やコミュニケーション能力を育て、主体的に活動に取り組む態度を育てる。